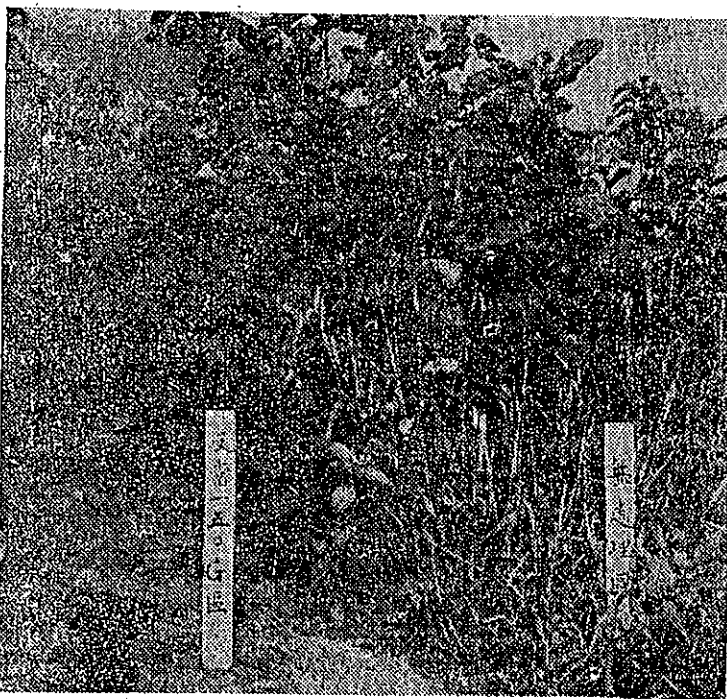
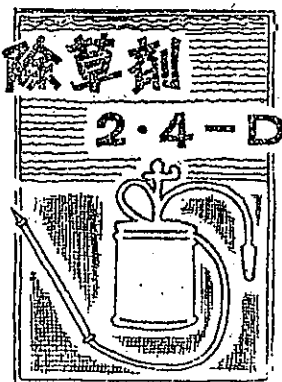




寫眞は日本に於ける二・四—Dの使用地端を示している、右の方の無感理區と、左の二・四—D使用地端とを比較して頂きたい。

四—D—が話題に上り、すばらしい効果があるものとして宣傳されてゐるが、實は本藥劑の殺草効果は著しい。僅か五十瓦(グラム)の「二—四—D—」で約一分地の水田の雜草を驅除できるので、この藥に對する一般の期待は大きく、將來これによつて東洋の「四つ道」一水田耕作の苦勞から農民を救ひ出す可能があるとも期待されてゐる。現在アメリカではこの藥が實用されて相當な効果を擧げて居り、日本では既に試験の域を脱して相當に使用されてゐる様である。本省では未だに使用法試験中である。

然しこの藥劑にも色々の欠點があるとの無批判に使用することは危険である。即ち本劑は碑(ヒエ)等の如き禾本科雜草及び浮草を殺す力がないことである。またこの藥劑の使用法や使用量を誤ると楢に對して烈しい藥害を與へる事と、それから本劑の使用によつておこる農村の餘つた勞力をいかにして利用するかと云ふ事も考慮



しなければならぬ。また本省に於ける除草は多くは中耕培土を兼ねて行はれる爲め、本劑を如何に從來の耕作耕作法に従つて使用するかも考へなければならぬ。次に「二・四・D」の使用法を簡単に紹介して見よう。

本劑の使用前一日か半日前に水田の水を完全に落さなければならぬ。これは直轄雜草に本劑をかけるためである。使用量は一分あたり五十瓦が基準になつてゐる。この五十瓦を一升ビンに入れ、それに水を一斗入れて振ると直ちに溶けて、一分地の殺草劑の原液が出来る。使用するときはこの原液を更に約五斗に薄めて一分地の水田に撒布する。

本劑の撒布時期は本省で年度下試驗中であるが、日本では「田植後十五日を経過し、温度が攝氏二〇—二十五度以上であれば先づ何の心配がなく」使用出来る」と云はれてゐる。時間的には天氣のよい日の午前十時頃がよい。ただ注意すべき事は撒布直後に雨が降ると殺草効果が減るから、天氣の悪い日には撒かない方がよい。

「二・四・D」撒布後、半日か一日位してから田に充分水を入れると藥効が一層よくなると云はれてゐる。二—三日経つと先づ弱い雜草から枯れ初め、十一—十五日を全部枯死する。しかし稗（ヒエ）は稻と同様に本劑に對して抵抗が強いから、稗は今までと同じ様に面倒であるけど念入りに拔かな

た黄三のでのもた生たいなけ意特こか與藥し苗稻つ量をいなければ
り變枚の下使用本苗長相。られしにのらる害てにのてで標本。られ
、しが一葉用劑でし常まばな注點、るををは對幼も使準劑

バ ナ ナ 種 苗 は

如何にして選ぶか



株が多少開いたりすることがあるが、これは間もなく回復するものと云はれてゐる。この現象は磷酸やカリの缺乏してゐる水田に發生し易いさうであるから、施肥に充分注意を要する。

最後に本劑を使用した容器や噴霧器は使用後充分に水洗ひしなければならぬ。水洗ひしないで蔬菜、烟草、果樹の如き作物の病虫劑に使用すると藥害を與へることがある。

以上は水田に於ける「二・四・D」について簡単に説明したが、本劑は陸稻、麥作及び甘蔗の除草にも相當な効果があるとの事である。

なほ本劑はアメリカのA.C.P.社の出品であるが、該社の指導で日本に於ても製造されてゐる。

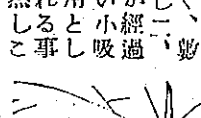
用できるものは左記の三種である。

- ①既に果實を生産した老株。
- ②六、七ヶ月を経過し、塊茎（下の圖の如くバナナの根の部分）の良く發育した吸芽（下圖参照）。
- ③二、三ヶ月を経過し、二尺半位に成長した小さな吸芽。

以上のうちで、①の如く老株を苗とする場合は、これをそのまま、或は塊茎を數個に切斷して、栽植する。切斷した切片には、各々一個の子球芽（吸芽の小さい

ものゝがついてゐるから切り去つてはならない。②の種類の苗は既に六―八月を経過して居り、塊莖が良く發達してゐる爲め、發育の結果が非常に良好で、廣く栽植用として用ひられてゐる。また③の如く、數週間ないし二、三ヶ月しか経過してゐない小吸芽も栽植用として用ひられる事があつた。然しこの種の吸芽のうち、形の小さいものは發育が良くない爲め、塊莖の大きく形の良いものを選んで栽植すべきである。

以上の如く栽植用として使用されるバナナの種苗には三種あるが、普通に廣く利用されてゐるのは②種、既ち六―八ヶ月を経過した吸芽で、もう種苗の足りない場合に③種のうちから發育の良いものを選んで栽植しても良い。



二、優良種苗の條件

バナナ繁殖體として利用できるものには種々あり、その傳劣に

吸芽(1)

吸芽(2)

塊莖

10センチ

も色々あるが、優良な栽植用吸芽として、どの様な條件が必要であるか次に擧げて見よう。

①初年生の母株から出た吸芽を種苗として採取しないで、二、三年生の母株から出た吸芽を使用すること。初年生の母株は植物として比較的に小形で、これから出た吸芽は一見して見事な様であるが、水分が多く塊莖内の貯藏養分が少い。二、三年生の母株から

虫腸指十二

要するにバナナ吸芽を栽植する時に、吸芽の選擇は最も重要で、その良し悪しはバナナの收穫に大きな影響を及ぼす。故に、各地に於ける自然興業を考慮すると共に、以上に述べた方法によつて優良なる種苗を栽植して頂きたい。(農林廳特資科)

寄生する害蟲で、この蟲を持てている患者は心臓を痛めて大いに勞働力を損はれる。農村に於いては殊に十二指腸虫が多く、ひどい所では保有率が全村民の五、六割と云ふ所もある。これは農村では肥(コヤシ)を取りあつたが關係上、十二指腸虫の幼蟲がハダシの皮膚をくち破つて人體内に入るからである。豫防法としては、田畑で仕事をすると時にゴム長グツでもはいて居るのが一番良い。また營養の高い食事、殊に鐵分を多く含んだ食事を攝ると十二指腸感染が減ると最近の研究では報告している。

出た吸芽は塊莖内の組織が發達して居り、従つて貯藏養分も多いから、その後の生長も良いわけである。

②吸芽を選ぶ時、畝の中の吸芽(1)の如く塊莖が肥大して居り内容の充實したものを選ぶ。次に矢張り畝中の吸芽(1)の如く葉鞘部(葉の先き)が堅くしまつて居り、先端が剣先きの様に細長く突き出て居り、全體の形が肥大した筈(タケノコ)の様なものが良く、高さは七〇センチが適當である。反對に吸芽(2)の如く塊莖が小さく、全體の形も小さく、既に完成葉が開いたもの不良である。(詳細は中文の圖一を参照)

③母株塊莖と種苗吸芽の接續部はなるべく畝中の吸芽(1)の如く細く小さいものほど結果が良い。これは吸芽を切り取る時、接續部が小さければ、それだけ傷を受ける面が小さく、後の發育に良い爲めである。

④越年苗を採取する事。九月ないし十二月に出る越年苗は新年苗より塊莖の組織が充實して居り、貯藏養分も多い。従つて栽植後の生長も良く、收穫を増し、その收穫期を短縮する事ができる。新年苗は外觀が良いが水分が多く、組織も充實していない爲め、貯